

14mm厚品 M W	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋) 木胴縁工法	釘	縦	横胴縁@500mm以下

2) 胴縁概要図

- 木胴縁をALCパネル1枚につき中央部1ヶ所に、ALC用アンカーで留め付けます。原則、ALC用アンカーははさみ固定式で取り付けますが、屋内側に躯体や内装材があり、施工できない場合は、ALC用アンカーねじ込み式とします。(最低1ヶ所はALC用アンカーはさみ固定式を使用します。)
- ALC用ビスは300mm以下の間隔で留め付けます。ただし、胴縁の両端はALCパネルの端部から75mm程度の位置にALC用ビスを1本増し打ちします。
- モエンとの干渉を防ぐため、木胴縁にはあらかじめ、ALC用アンカー部分にφ25mm、深さ15mm程度の座堀をします。
- 出隅部・開口部まわりの木胴縁は、ALC用ビスで留め付けます。
- ALC用アンカーでALCを貫通させた部分の周囲には、捨てシーリングを施工します。
- ALC用アンカー・ビスの設定は、物件ごとに既存壁に対するアンカー・ビスの引っ張り荷重確認を行い決定します。

